

試験報告書

依頼者 株式会社 ダイオーズジャパン

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 HC99L(T)-POU-JP(フィルター)

表題 ペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸
除去性能試験

2024 年 07 月 08 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

ペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸 除去性能試験

1 依頼者

株式会社 ダイオーズジャパン

2 検 体

HC99L(T)-POU-JP(フィルター)

3 試験概要

JWPAS B(2023)「浄水器の製品及び性能に関する規格基準」(一般社団法人 浄水器協会)に示された、JWPAS B.210「浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準」により、ペルフルオロオクタンスルホン酸(以下「PFOS」という。)及びペルフルオロオクタン酸(以下「PFOA」という。)除去性能を試験した。

なお、PFOSは異性体を含めて定量した。

4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 PFOS及びPFOA除去性能試験結果

動水圧 (MPa)	水温 (℃)	分析試験項目	結果 (mg/L)		除去率 (%)
			ろ過水	原水	
0.28	19	PFOS及びPFOA	検出せず*1	0.000044	88以上
		PFOS	検出せず*2	0.000022	—
		PFOA	検出せず*2	0.000022	—

*1 定量下限 : 0.000005 mg/L

*2 定量下限 : 0.000025 mg/L

5 試験条件

水	: 水道水(東京都多摩市)	
水の処理	: 純水製造装置 ピュアライト PRO-0500-001[オルガノ株式会社]	
原水の設定 : 濃度	PFOS及びPFOA	0.000050 mg/L±0.000010 mg/L
	PFOS	0.000025 mg/L±0.000005 mg/L
	PFOA	0.000025 mg/L±0.000005 mg/L
	水温	20 °C±3 °C
通水条件	: ろ過流量	3.8 L/min
測定方法	: 固相抽出-液体クロマトグラフ-質量分析法	

6 除去率の算出

次式により算出した。

$$\text{除去率(\%)} = \frac{\text{原水測定値} - \text{ろ過水測定値}^*}{\text{原水測定値}} \times 100$$

* 定量下限未満の場合は、定量下限値を使用。

以 上